

使徒パウロは1度も訪れたことのないコロサイの教会に、聖霊によって手紙を書いています。これについては先週お話ししました。とても興味深いです。

#### コロサイ 1:7-14

7 そういうものとして、あなたがたは私たちの同労のしもべ、愛するエパfrasから福音を学びました。

彼は、あなたがたのためにキリストに忠実に仕える者であり、

8 御霊によるあなたがたの愛を、私たちに知らせてくれた人です。

エパfrasを紹介すると、彼は神の人で、コロサイ教会の牧師です。

私は本当に、この人が好きです。

彼は陰で、コロサイのクリスチャンたちの良いことを言っていました。悪口ではありません。

信仰あるクリスチャンたち、御霊による愛のあるクリスチャンたちのことを、パウロたちに話しました。

9 こういうわけで、私たちもそのことを聞いた日から、絶えずあなたがたのために祈り求めています。

どうか、あなたがたが、あらゆる霊的な知恵と理解力によって、神のみこころについての知識に満たされますように。

10 また、主にふさわしく歩み、あらゆる点で主に喜ばれ、あらゆる良いわざのうちに実を結び、神を知ることに於いて成長しますように。

11 節、注目して下さい。

パウロは具体的に、絶え間なく、彼らのためにこのように祈っています。

11 神の栄光の支配により、あらゆる力をもって強くされ、どんなことにも忍耐し、寛容でいられますように。

12 また、光の中にある、聖徒の相続分にあずかる資格をあなたがたに与えてくださった御父に、喜びをもって感謝をささげることができますように。

13 御父は、私たちが暗闇の力から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。

14 この御子にあって、私たちは、贖い、すなわち罪の赦しを得ているのです。

では、共に祈りましょう。

愛する天のお父様、今朝、私たちに与えられている箇所のお言葉に感謝します。

主よ、この時間、あなたが必要です。

聖霊によって私たちを集中させ、私たちの意識を捕らえてください。

そうすれば、御言葉を通して、あなたが私たちのいのちに語られることを聞くことができますから。

そのために、今ここにいます。

あなたはこの美しい教会にいる全ての人の、あらゆる必要を知っておられます。

それは、インターネットで観ている人たちも同じです。

ですから主よ、あなただけができる方法で、飢え渴いている私たちの魂を十分に満たして下さいように祈ります。

イエスの御名によって。アーメン。

私がこれを頻繁に言うので、皆さんはきっと聞き飽きたと思いますが、ここも、とても楽しみにしていた箇所です。

なぜかという、コロサイのクリスチャンに特定される事を、絶えず祈っている事を、使徒パウロが書いているから。

私にとって、聖書の中で最も素晴らしい祈りの1つだから。

御言葉の中には、私たちのために記録されている祈りがたくさんありますが、私にとってこれは聖書全体にある祈りの中で、最も美しく、力強い祈りの1つです。

パウロはとても具体的に祈っています。

#### コロサイ 1:11

**神の栄光の支配により、あらゆる力をもって強くされ、どんなことにも忍耐し、寛容でいられますように。**  
興味深いことに、ここからある疑問が出ます。

「なぜパウロは彼らのために、はっきり特定して、この事を祈ったのか」

パウロはこのコロサイ教会のためにいくつもの事を祈れたのに、と思うでしょう。

でも彼は、とても具体的にこれを祈りました。

なぜか。

私はその答えは9節と10節にあると思います。

パウロは神に求めています。

#### コロサイ 1:9

**あらゆる霊的な知恵と理解力によって、神のみこころについての知識に満たされますように。**

注目して下さい。

繰り返しますが、とても興味深い言葉で、聖霊がパウロを促して書かせたのです。

知恵、理解力、強さ、力、忍耐、寛容。

これらは、私たちが切に、人生に求めるものですよね。

そこで11節で、彼らが強められ続けるように祈っているのです。

#### コロサイ 1:11

**神の栄光の支配により、あらゆる力をもって強くされ、どんなことにも忍耐し、寛容でいられますように。**

これは継続のプロセスで、原語では非常に強調されており、「絶え間なく強め、力づけ続ける」というような考え方です。

単に「強くされる」と同じ意味ではありません。

あらゆる力をもって、絶え間なく強められるのは、どんな目的のためでしょうか。

「あなたは強くなり、打ち破る力を得る！」—違います。

「あなたは強くなり、全ての事を可能にする力を得る！」—違います。

「強め、力づける」と言っている事が意図している目的は何か。最終目的はどこにあるのか。

それは大きな寛容を伴う忍耐（11節）、これが目的です。

私はこんな風に考えました。

「神は、最終的に神の栄光をもたらす目的のために私たちが用いる、と分かっているものだけを与える。」

ところで、私は“ハイジャック”という言葉を慎重に使っていますが、

なぜなら、この言葉は世によって、ある意味でハイジャックされているからです。

アラブ人がハイジャックという言葉、たとえで使うべきではないことは分かっていますが、世俗世界が

「秘訣」という言葉をハイジャックしています。

しかしこれは応えられる祈りの秘訣なのです。

イエスは言いました。

#### I ヨハネ 1:14-15

**14 何事でも神のみこころにしたがって願うなら、神は聞いてくださるといふこと、これこそ神に対して**

私たちが抱いている確信です。

15 私たちが願うことは何でも神が聞いてくださると分かるなら、私たちは、神に願い求めたことをすでに手にしていると分かります。

あなたが父の栄光をもたらすあらゆる祈りをするなら、もうその祈りは聞かれたも同然です。

その通りになると決まったも同然。

それが神の御心で、神の栄光をもたらすものであるなら、求めるものは何でも与えられるのです。

あなたが何かを祈り、神がそれに応えられなかったのなら、もしかすると、それはあなたにとって良い事ではなかったか、神の栄光にならなかった事なのかもしれません。

神が応えられないのは、そのような祈りです。

祈りは神に栄光をもたらさなければならぬのです。

これが、パウロが言っていることで、あなたへの神の御心です。

それがあなたへの神の御心である理由は、最終的に神の栄光をもたらすからです。

「神は私たちが必要だと考える以上に、その事をもっとよく知っている」と言えるかもしれません。

これは当たり前のように聞こえると思いますが、私たちが自分の事を知っている以上に、神は私たちの事を知っています。

しかし思い切って言いますが、私たちは、「自分は神よりも知っている」という振る舞いをしていて、神が私たちに対して思う最善よりも、自分が思う最善の方が良いと思っているのです。

日々直面していた大きな欠乏や困難の中で、これこそがコロサイのクリスチャンたちが、他の何よりも必要としていたものでした。

彼らが当時の初期教会の中で、非常に困難な状況に葛藤していたのは間違いないのです。

これは今の私たちの時代と似ています。

ですから私たちにとっても、これは真実ではないですか。

特にこの終わりの時代、私たちが最も必要としているのは強さ、力、持久力、それに加えて寛容、忍耐。

皆さん、欲しいですか。私は欲しいです。

これなしでクリスチャン人生を過ごせたことは、一瞬もありません。

神は神だけができる方法で、私が神と共に歩めるところへと、本当に優しく導いて下さっています。

それで、忍耐や試練、欠乏、困難に対して、どんな希望でも私にあるなら、私は完全に全てを神に投げ頼むのだということが分かり始めました。

特に終わりの時代、試練や欠乏、困難はたくさんあります。

今朝、第1礼拝前の祈り会の間に考えていたのは、預言者がアサ王に語った事で、主の目がどのように世界のあちこちを捜していたのかということ。

神は何を捜していたのか。

それは神に完全に献げる心。その心を持つ人たちを力づけるために。神が彼らの力だから。

しかし神はまず、完全に投げ頼んでいる心、肉の力や気力を働かせるのではなく、神の力に信頼している心を探しているのです。

これからその箇所へと辿り着くのですが、どうかついて来て下さい。

なぜならこれは先週、神が私にパワフルに働きかけて下さったことだから。

何度読んだか分からないほど読んできた、ロイ・ヘッションが書いたディボーションの本が、書齋にあります。

タイトルは『Calvary Road /カルバリの道』

私はこの本を軽々しくお勧めしません。これはとても激しいから。

これは神が私にずっと語り、働きかけ、考えさせている事です。

私たちは自分の力が非常に強くて、I（私）は砕かれないまま頑なで、強情で、自己中心、プライドに満ちている。

しかし神は（神は良い牧者で、とても優しいですよ）、私たちを砕かれます。

そうしてIは砕かれて、膝をかがめてC（の形）になり、神の偉大な力、強さの中で、キリストのために生きるのです。

これを話すのは恥ずかしいのですが、37年間主と歩んで来た私のクリスチャン人生の殆どは、Iの生き方でした。

自分自身の力で働く、肉の働きだったのです。

私の本質に存在している非常に多くの、言わばイシュマエルたちが、その事を明らかにしています。

神は初めから、ご自分の偉大な力で働きをしたいと願っていて、「私ではなく主が」「私ではなくキリストが」と言う心をくまなく捜していたのです。

Iが折られ、かがめられ、へりくだっている心を。

これら全てをお話する理由は、これが、苦難がもたらすことだから。そうですよね。

これが、神が私たちの人生に、欠乏や苦難を許す理由だと思いませんか。

神は残酷ではありません。神は実に愛のお方ですよ。

この事について、木曜日の夜に詩篇 119 篇からお話しました。

神だけができる方法で、あなたが苦しみ、痛み、困難、悲劇、試練を切り抜けることを可能にし、火があなただを焼き尽くすことはなく、水があなただを襲い、溺れさすこともない。

別の方向から見た時、振り返った時、その痛みがどれほど激しかったとしても、神があなただになさった事と引き換えにできるものは何もないでしょう。

実際あなたは、本当に辛い事だったのに、その痛みや試練を神に感謝している自分に気付きます。

神があなただの人生にされた事のゆえに、神に感謝できるのです。

これが、パウロがコロサイ教会のために祈っていることです。

ところで、これは危険な祈りですよ。

あなたが忍耐について祈る時に、どうなるか知っていますか。

天使たちが困りながら「そのことを祈らないで…。彼はその祈りをしてないよね。」

「いや、祈った。忍耐について祈ったよ…」「分かった…」と言うのが聞こえてくるようです。

神は、「それはわたしの御心、わたしが望む事。それはわたしに栄光をもたらすもの。よし、与えよう。

さあ、わたしがする事を見ていなさい」と、私に忍耐をもたらします。

人生の試練によって。

次のことをシェアさせて下さい。

神はそれをどのように行うのか。

神はなぜそれを行うのか。

それを行う神の目的は何か。

あなたが今日、教会に持って来た試練や困難の目的はこれだと言えるかもしれません。

私が言っている事、あなたは分かりますね。

神はそれがどれほど辛いものかを知っていて、気にかけて、見ているのです。

あなたの人生に神が深く働いていないなんて、決して考えないで下さい。

あなたが乗り越えている痛みで満ちた状況を通してでしか生み出せない、尊い実りがあるのですから。

その方法は、神は試練の中で、試練を通して、私たちを強めるということ。

神が試練によって私たちの中に生み出すもの、それは Strength（強さ）、Power（力）、Endurance（耐える力・持久力）Perseverance（忍耐力・根気強さ）、Patience（苦難への忍耐）  
さて初めに、これらの言葉を定義づけて区別しなければなりません。  
同じ事を表しているような類義語に見えるからです。  
私はこれらを調和したものとして見る方が良いと思います。  
Strength（強さ）と Power（力）は類義語ではなく、Endurance（耐える力・持久力）と Perseverance（忍耐力・根気強さ）も類義語ではありません。  
試練によって生み出される産物が Patience（苦難や悲しみに対する忍耐）です。

ところで、それらは成長する実です。

**ガラテヤ5章**、よく知っていますよね。

御霊の実は、愛（Love）、喜び（Joy）、平安（Peace）、善意（Goodness）、親切（kindness）、柔和（Meekness）…、忍耐（Patience）!、自制（Self-Control）

これらの実は成長していくのです。

それには時間がかかり、肥料と水が必要です。

成長し、実を実らせるために、養い育てなければなりません。

マンゴーの木が、呻きながら実を生み出そうとしているのを見たことはないでしょう。

「オレはもっと強くなって、もっとたくさんの実を生み出すんだー！（陣痛、出産のように）」

それはものすごく変ですよ。違います。愚かな事をしてすみません。

時間がかかるのです。

実が成長するための肥料として試練を見る。

試練、困難、痛み、苦しみ、苦難を肥料として、水として見るのです。

言わば、ミラクルグロー（家庭菜園用肥料の名前）のように。

それが持久力（Endurance）、忍耐力（Perseverance）、強さ（Strength）、力（Power）、忍耐（Patience）を生み出します。

なので、これらは調和していて、持久力（Endurance）と忍耐力（Perseverance）の両方が、強さ（Strength）と力（Power）と共に、同類の同居人（ルームメイト）

これらは共に生きて、共に行き、共に働くのです。

持久力（Endurance）は困難の中での強さ（Strength）

忍耐力（Perseverance）は困難を押し進み、乗り越える力（Power）

どのように互いが協調しているか分かりますね。

次にこの話をしましょう。

人生に於ける持久力と、忍耐力を生み出す強さと、力を、どうやって得るのか。

私たちが既に同意しているように、私たち全員、これが欲しいですね。ただ確認しただけです。

持久力、強さ、忍耐力、力、忍耐を求めているという事を前提として、ではどうやってそれらを得るのか。どこで得るのか。どのように来るのか。人生に於いて、どのように成長するのか。

答えは、試練の中で得る。

試練を通して、持久力、強さ、忍耐力、力、忍耐を得るのです。

テレビでよく薬のCMがありますね。副作用いっぱい薬。

あんな風に、持久力、強さ、忍耐力、力、忍耐のための処方薬が手に入ればいいのに。

私には特に、忍耐（Patience）の処方薬が必要です。が、それはありません。

ただ試練の中だけで、苦難の中だけで、生み出されるものなのです。



私が信者になりたての頃、ヤコブ 1:2-4 を理解するのに本当に苦しみました。

ヤコブが聖霊によって、こう言っています。

### ヤコブ 1:2-4

#### 2 私の兄弟たち。様々な試練にあうときはいつでも、この上もない喜びと思いなさい。

間違って訳されていないか確かめるために、原語であるギリシャ語の新約聖書を見ましょう。

もしかしたら本来は、「私の兄弟たち。様々な試練にあうときはいつでも、この上もない地獄と思いなさい。」という意味かもしれないから。

これは試練にあう時に、私たちが考える事ではないですか。

喜び…ただの喜びではなく、この上もない喜びですって?! 冗談でしょ。

私なら「主よ、なぜ? あなたは何をなさるんですか?!」

—「あなたに示す。すぐに分かるから、少し待っていなさい。わたしがしている事をあなたは見るから。」

「でも主よ、これはとても辛いです!」

—「分かっているよ。でも、わたしがしている事がもうすぐ分かる。」

ヤコブはそれを述べていて、実際、「私たちがこの上もない喜びとして考えられるのはなぜか」という疑問に答えているのです。

3 節が答えです。

#### 3 あなたがたも知っているとおりに、信仰が試されると忍耐が生まれます。

because you know that the testing of your faith produces perseverance. (NIV)

あなたがたも知っているとおりに (because you know)、これがキーワードです。

望んでいるとか、考えているとか、願っている、思っているではなく、知っている。

#### 4 その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは何一つ欠けたところのない、成熟した、完全な者となります。

Let perseverance finish its work so that you may be mature and complete, not lacking anything. (NIV)

ちょっと待って。

#### 3 あなたがたも知っているとおりに、信仰が試されると忍耐が生まれます。

「忍耐力 (Perseverance) について祈ったでしょう? 覚えてないか?」確かに祈ったなあ。

「忍耐力 (Perseverance) が生まれるのは、あなたがたくさんの試練に直面することによって、信仰が試されるからなんだよ。」

こうして忍耐力が生じる。

神はあなたの祈りに応えておられるのです。

あなたの忍耐についての祈りに応えるには、神は試練をもたらさなければなりません。

### ローマ 5:3-5

ここはヤコブと似ていますが、あなたが初めてここを読んだ時、「どうやって?」と思ったでしょう。

なぜならパウロはこう書いているから。

#### 3a そればかりではなく、苦難さえも喜んでいきます。 / 苦難をも誇りとしています。(新共同訳)

私たちは、そうしているのでしょうか。

実際に、あらゆる試練や困難に直面している時、それをこの上もない喜びや誇りと考えることは、どうすれば可能なのでしょうか。

ここで、「知っている」この言葉が再度出て来ます。

「知っている」が、あなたがどのように考えるか、なぜこの上もない喜びと思えるのかの理由です。

あなたは神が、試練の中で共におられることを知っているから。  
あなたは神が、人生に何を行うのか、何を生み出そうとしているのかを知っているから。  
あなたがそれを求めて祈ったから、神は与えようとしておられるのです。  
しかしそれを与えるために、神は試練や苦難、困難をもたらさなければなりません。

### ローマ 5:3-5

**3b それは、患難が忍耐 (Perseverance) を生み出し、**

**4 忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと、私たちは知っているからです。**  
そしてこれ。

**5a この希望は失望に終わることがありません。**

絶対に失望しない。

神は絶対にあなたをくじくことをせず、失望させず、裏切らない。

なぜなら、試練によって生み出された忍耐、忍耐から練られた品性、練られた品性から来る希望、これが最終段階だから。

**5 この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。**

聖霊の実は何でしたか。

愛 (Love)、喜び (Joy)、平安 (Peace)、寛容 (Gentleness)、善意 (Goodness)、親切 (kindness)、柔和 (Meekness)、忍耐 (Patience)、自制 (Self-Control)

最後に1つの箇所から話をしたいと思います。

これはとてもよく知られている箇所で、皆さんもきっと聞いたことがあるでしょう。

色々と意識されています。

たとえば、「神は、あなたが耐えられない事は与えない。」

まさしく意識と言うべきですが、

**I コリント 10:13 神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。**

私の人生に何回もあった事で、告白しなければならないのは、「神様、あなたは私の事を過信しています。だって、あなたは私がこれに耐えられると思っている。」

私は糸1本で持ちこたえていて、それが切れたのです。

その糸が切れたら、もうつかむことはできずに沈んで行くのですが、その時に神が飛び込んで来て、あなたをつかむ。

神はあなたをしっかりとつかみ、引き上げて下さいます。

イエスがペテロにしたように。

ペテロが沈みかけた時、有名な祈りをしました。3語の祈りです。

それは、私がその祈りをする時、大きな希望を与えてくれます。

神は3語の祈りに応えて下さるのだから。

「Lord save me./主よ、助けてください。」(マタイ 14:30)

沈みかけている時に。

これは記事にないのは分かっていますが、こんな感じだったかもしれません。

「主よ、助けてくだ、ブクブクブク…」

彼が沈んで行った時、その時、主がひょいっと。

時々糸が切れそうになりますが、神はあなたを引き上げて下さいます。

次に、パウロがコリント教会に書いていることで、原語のギリシャ語の言葉が、皆さんの聖書では「誘惑」(Temptation)と訳され、別訳では「試練」(Trial)と表現されています。

ある人が「全ての試練は誘惑であり、全ての誘惑は試練である」と言っていました。

なので、これは明らかに類義語です。

私はこれを試練と表現します。

### I コリント 10:13

**あなたがたが経験した試練はみな、人の知らないものではありません。**

But God(しかし神は；日本語聖書にはない)、

私はこの2語が大好きです。これがここから読み進める全ての様相を変えるのです。

**神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。**

**むしろ、耐えられるように、試練とともに(試練の中で)脱出の道も備えていただきます。**

言い換えると、試練の中で、試練を通ることによって、耐え抜く忍耐と強さを得る。

そこから強さが来る。持久力が、忍耐力が来る。

ところでこの「力(Power)」という言葉、よく知っていますね。

これは、原語のギリシャ語ではデュナミス、英語ではダイナマイト。

それがこの力です。

試練の中で、試練を通ることによって生み出される力。

このようにして、試練の中でも踏ん張ることができ、耐え抜き、そして神はそこから抜け出させます。

試練を耐え、乗り越えるのに必要な唯一の方法は、試練と共に、試練の中で、試練の間、試練のゆえにもたらされる。試練から来るのです。

私の体験をお話して終わりたいと思います。

個人的なことの引用をお許し下さい。これで締めくくります。

私にとってそれは、乗り越えられないと思えることでした。

直面していた試練を耐えて、忍耐できるとは思えなかったのです。

私は自分のことを偉大な信仰の人だとは、決して描きたくありません。

そうであったら良かったのですが。

試練の間、ジタバタしたり、闘ったり、噛みついたり、引っ掻いたりしなかったら良かったのに。

試練の間、あんなにも文句を言わなければ良かったのに。

何年もの間、たくさんの試練がありましたが、最近は特にそうです。

個人的なことを心からお話していますよ。

しかし神は、私にあらゆる試練を通らせ、試練の中で、試練のゆえに生み出される持久力、忍耐、強さ、力、寛容を与えただけではありません。

反対側から振り返ると、神は私の心をご存知で、私は聖い手を上げることができ、こう言うのです。

私がこれを言う時、神が証人です。

「神様、私があの試練を通らなかったら、今持っている他の人々を憐れむ心を持ってなかったでしょう。

あなたは私をもっと愛するようになされました。かつての私は愛していませんでしたから。

もっと愛するようになりたいです。」

こうして、人々に示す私の愛によって、彼らはJDというイニシャルは『Jesus Disciple(イエスの弟子)』だと知るので。

困難や苦難を通らなかったら、私はこのような愛を持ってなかったでしょう。

人々に対して、もっと忍耐できなかつたでしょう。

私はまず父親として、そして絶対に牧師としても忍耐力が必要で、子供たちに対して忍耐強くなりました。



あの試練がなければ、こんな忍耐力はなかったでしょう。  
振り返ると、その全てが人生の中で成長している実なのです。  
愛の実、喜びの実、平安の実、善意の実…

もしかしたら、これはそれ自体で説教かもしれませんが、別の機会のトピックかもしれませんが、寛容（Gentleness）と親切（kindness）について、少し話しましょう。

先日、あるバンパーステッカーを見たのですが、これがとても面白いのです。  
神はバンパーステッカーを通して語ってくれますよ。ナンバープレートでも。  
あなたに試練を乗り越えさせるために、神がそれらを使わないといけないなら大変です。  
私が見たバンパーステッカーには、『もう1度、アメリカを親切に』（Make America Kind Again）  
すごく面白いなと思いました。  
まさしく親切な行動、親切な言葉。  
人々は傷ついています。  
だから今朝、心にこの祈りを強く感じたのです。  
「神様、あなたはこの教会全員の、オンラインで観ている人たちの、心の全ての必要をご存知です。」

いいですか。正直になりましょう。

私たち牧師は最悪ですよ。

敢えて言いますが、最悪なのは、牧師が仮面をかぶることです。

結局、私たちは聖い者ではない。聖職者…だなんて…

お願いですから、絶対に私をそう呼ばないで下さい。皆さん、知っていると思いますが。

それを隠すために、良く見せかけようと仮面をかぶります。

私たちは安心して素の自分を出すことができません。

こうする時、私たちは本当に、敵の手中のすぐ淵にいるのです。

これこそが敵が求めていることで、これこそが敵が企むことです。

もし私たちが仮面を取ることができないなら、他人にオープンに、正直になれないなら、どのようにしてそこからの解放を体験することができるのでしょうか。

神が私たちに意図しているもの、そこから来る励ましを、自分自身で奪ってしまっているのです。

互いに励まし合い、良い働きにおいて、互いに引き立て合って、そうして、体が健全に機能する。

癌が何か知っていますか。

体の細胞が、言わば悪党になり、健康な細胞を攻撃する。それが癌です。

仮面をかぶる時、あらゆる方法で霊的癌が広がり得ると私は思います。

牧師としてのクリスチャン人生で経験した素晴らしい事は、私が自ら、ただ心を開いた時に起こりました。

私は、「全ての人に自分の魂をさらけ出せ」とは言っていません。

皆さんは慎重に見分けなければなりません。

しかしキリストにある兄弟姉妹が来て、「やあ、元気かい？」と言った時、あなたは「ああ、元気だよ。ハレルヤ！」と言いますね。

私はよく思います。

今度誰かが「元気かい？」と尋ねた時、あなたが正直に「実はあんまり上手く行ってなくて。」

「全く大変で、奮闘しているんだ。」「本当に苦しくて辛い試練のただ中にいるんだよ。」と答えたらどうなるだろう。

私はパウロのような人たちに、私のために祈ってもらうことができます。「私のために祈って下さい」と。

これで最後です。そしたら預言アップデートに入ります。

